

南会津地域感染症通信 2月号

調査対象期間：2020年第4週～2020年第7週（1/20～2/16）

令和2年2月
福島県南会津保健所
電話 0241-63-0306



毎日のように新型コロナウイルス感染症に関する報道がされていますが、感染症対策の基本はこまめな手洗いと咳エチケットです。手洗いと咳エチケットについて正しい知識を身につけ、感染症にかからず元気に過ごしましょう！

＜感染症流行状況＞ ※南会津地域の指定医療機関（2か所）からの報告をもとに作成しています。

流行状況	疾患	発生状況等
小流行	インフルエンザ	県内、管内ともに患者報告数は減少傾向にあります。感染性胃腸炎や新型コロナウイルス感染症対策としても手洗いの励行に努めましょう。

※福島県では第49週（12/2～12/8）において、インフルエンザ定点医療機関からの患者報告数が1定点あたり12.81人（定点数83か所、報告数1,063人）となり注意報レベル（1定点あたり10.00人）を超えました。これは過去10年間で最も早く、昨シーズンよりも1か月早い状況です。

＜今月のトピックス＞～新型コロナウイルス感染症について～

▶ どんな症状がでるの？

発熱やのどの痛み、長引く咳（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）とされています。

▶ 感染経路は？

飛沫感染と接触感染によりうつるとされています。

飛沫感染：感染者の飛沫（くしゃみ、咳など）と一緒にウイルスが放出され、そのウイルスを口や鼻などから吸い込むことで感染します。

接触感染：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手でドアノブなど周囲の物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれに触ることでウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

▶ 普段の生活ではどんなことに気をつけたいの？

インフルエンザなどと同じように手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や食事前など石けんを使いこまめに手を洗いましょう。また、咳などの症状がある方は、咳エチケットを行いましょう。

発熱等の風邪症状がみられるときは、学校や会社を休み外出を控えることも感染を広げないためには大切です！

～帰国者・接触者相談センターを設置しました～

帰国者・接触者相談センターでは感染が疑われる症状のある方から電話で相談を受け、帰国者・接触者外来を適切に受診できるよう調整します。以下のいずれかに該当する方は、帰国者・接触者相談センターにご相談ください。

*風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方（解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です。）

*強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、季節性インフルエンザ等の心配があるときは通常と同様にかかりつけ医にご相談ください。

【帰国者・接触者相談センター】
福島県南会津保健福祉事務所（南会津保健所）
0241-63-0306

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- 爪は短く切っておきましょう
- 時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのほすようにこすります。



指先・爪のすきを念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。